

平成 26 年 6 月 19 日

## 報 告 書

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

那須塩原市議会 第 2 班 班 長 高久 好一  
記録者 藤村 由美子  
齊藤 誠之  
若松 東征  
人見 菊一

下記のとおり報告会を開催いたしましたので、報告します。

### 記

1. 日 時 平成 26 年 5 月 13 日（火）午後 6 時 30 分～8 時 20 分

2. 会 場 とようら公民館

3. 担当議員と役割

#### 【担当議員】

高久 好一 （班長）  
玉野 宏 （副班長）  
櫻田 貴久 （司会者）  
眞壁 俊郎 （平成 25 年 12 月・26 年 3 月定例議会報告）  
吉成 伸一 （議会活性化検討特別委員会報告）  
玉野 宏 （放射能対策検討特別委員会報告）  
藤村 由美子 （記録）  
齊藤 誠之 （PPT 操作、記録）  
若松 東征 （記録）  
人見 菊一 （記録）

#### 【応援議員】

佐藤 一則、伊藤 豊美、鈴木 紀、相馬 義一

4. 参 加 者 市民 12 名（男性 11 名、女性 1 名）

## 5. 主な意見・要望

### 質疑・応答

#### <定例会>

Q：議会の役割について4番目に書いてある執行機関を監視する機関について、議会は主催者である住民に代わって行政機関を、監視、評価し、執行機関の独走をチェックする機関であると書いてありますが、何をチェックして、監視するのですか？

A：市から出される提案に対して、チェック、監視、評価し、最終的には議決をするといった形が一つと、全体的な市の行政運営に対して、これについてもチェックをする。

Q：何か実例はあるのでしょうか。

A：実例的には今のところない

#### <議会活性化検討特別委員会>

Q：広報広聴委員会の話ですが、議会報告会などと謳っているところの“など”とは何をさしているのか。

A：市には色々な団体がある、その団体との意見交換会などでも色々な意見は出てきます。そういうことを指してある。

Q：モニターの設置について。

A：更新の時期が訪れたため、より新しいものに変えた。

Q：この更新したモニターは新庁舎に移設するのか。

A：新庁舎については今後の検討になるわけなのでここではお答えできない。

Q：政治倫理条例制定のところで、これを制定しなければならないほど倫理に欠けているのか。

A：那須塩原市議会では不正があるとかそういうことではなく、より議員の資質を高めるための条例として、制定に向けて鋭意努力している。

Q：公務員法でも制定されているのに改めて制定するほどのものがあるのか。

A：議員は非常勤特別職にあり、条例を制定する権利もあります。より自分たちを律しようということと、自ら作ろうというところに意義があるということに進めている。

Q：広報誌、議会だよりと、広報なすしおばらの紙の質が違うような気がする。

A：予算については、今まで同様である。紙の質の件も調べる。

Q：議会だよりが市民の方に読まれているかの把握はしているのか。

A：そちらについても調べて対応してみる。

**要望** 広報広聴委員会の設置に力を注いでください。

＜放射能対策検討特別委員会＞

Q：除染前と除染後の数値について業者別で差があるのか。

A：差はありません。

**意見**

- ・業者によっては、いい加減なところもあったのではないかと思います。
- ・前回出た質問を反映した質問にすればわかりやすいのではないかと提案
- ・発表する議員同士のコミュニケーションが取れていないのではないかと思います。
- ・放射能に対してもっと敏感になっていただきたい。

**意見交換**

Q：体育協会の水泳部の不正受給事件についての相談窓口はどこですか。

A：市政懇談会等で質問してみてもいいのでしょうか。

6. 報告会の運営について

＜良かった点＞

- 報告を3項目に分けて行ったことで、質問の範囲が区切られてはっきりしたので、質問がしやすくなった。
- 新たな発表の仕方も加わり（プロジェクター）、興味を引くことができた。

＜改善・工夫を要する点＞

- 参加者が少ない会場があった。  
（対策）
  - ・参加を呼び掛けたが、都合で別会場に参加した人もいた。
  - ・自治会関係者を中心に、住民に参加呼びかけを行う。
  - ・地域により事前にテーマをチラシに載せ、意見を寄せてほしいと投げかけてはどうか。
- 発言がなくなり、予定時間を多く残して終了した。  
（対策）
  - ・参加者個々に発言を促す工夫があっても良かった。
  - ・参加につなぐ呼びかけ、仕掛けをどう作るか。
- 同じ人が毎回来て同じ質問を続けた結果、他の人が質問できない状況があった。  
（対策）
  - ・1つのテーマ、意見ごとに区切り、一回りしてからの発言にしてもらう。

<報告会全体として>

- 報告会という敷居を下げて、答えが決まったものを報告するだけでなく、意見を聞く場にしてはどうか。
- 市政懇談会の運営方法を参考にする。
- 回数を重ねて初めて出てくる知恵や工夫もある。
- 議会報告会として独自の努力が必要である。
- 新人議員の発言の場をつくる必要がある。